

『生まれる』 作：ポチ子

生まれてこなかった方が良かったやつもいる。

テレビで流れるニュースを、適当に眺めて思う。

散々迷惑をかけて、

事が大きくなったら、

他人や社会のせいにして、

言い訳だけを並べる人間だっている。

皆、かけがえのない命で、

命に優劣はない。

そんなことはない。

そいつが生まれなければ、

今もこの世にあつた命がある。

それを命の平等で、説明できると思えない。

皆、思っているけれど、

口に出さなければ許される気がして、

黙っているのだ。

それが都合のいい時だけ、

綺麗な言葉を並べて、

時として例外もあると、

さっきの綺麗ごとなど無かったかのように、

罵詈雑言を吐き散らすのだ。

この気持ちが正しいのか、

そう問われれば、

正しくないと答える。

だからって、

この気持ちを間違いだとも言いたくない。

— 終わり —